

イスラエルの現状、聖書の視点から見て

**Viewing the current situation of Israel
from a Biblical perspective**

**Die gegenwärtige Situation Israels
aus der biblischen Perspektive sehen**

ローマ 9:1-5 & 11:11-12.25-29

Romans

Römer





中東



5分のビデオ

イザヤ 45:1-5 から

1 主は、油注がれた者キュロスについてこう言われる。...

...

3 ... わたしが主であり、あなたの名を呼ぶ者、
イスラエルの神である ことをあなたが知るためだ。

...

5 わたしが主である。ほかにはいない。わたしのほかに神はいない。
あなたはわたしを知らないが、わたしはあなたに力を帯びさせる。

אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל

アニ・ヤハウエー エロヘイ・イスラエル



イスラエルに関して... (英) **Concerning Israel...** (独) *In Bezug auf Israel...*

1. **ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較**

Comparing Dispensational Theology and Covenant Theology
Vergleich von Dispensationalismus und Bundestheologie

2. **聖書の預言**

Prophecies of the Bible
Prophetien der Bibel

3. **アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え**

Accusations and Attacks by the Arabic Countries and the Whole World
Verurteilungen und Angriffe von den arabischen Staaten und der ganzen Welt

4. **神の教会として、とるべき態度**

The Attitude we should take as the Church of God
Die Einstellung, die wir als Gemeinde Gottes haben sollten

ローマ 9:1-5

1 私はキリストにあって真実を語り、偽りを言いません。私の良心も、聖霊によって私に対し証ししていますが、

2 私には大きな悲しみがあり、私の心には絶えず痛みがあります。

3 私は、自分の兄弟たち、肉による自分の同胞のためなら、私自身がキリストから引き離されて、のろわれた者となってもよいとさえ思っています。

4 彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法の授与も、礼拝も、約束も彼らのものです。

5 父祖たちも彼らのものです。キリストも、肉によれば彼らから出ました。キリストは万物の上におられ、とこしえにほむべき神です。アーメン。

ローマ 11:11-12. 25-29

11 それでは尋ねますが、彼らがつまずいたのは倒れるためでしょうか。決してそんなことはありません。かえって、彼らの背きによって、救いが異邦人に及び、イスラエルにねたみを起こさせました。

12 彼らの背きが世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となるのなら、彼らがみな救われることは、どんなにすばらしいものをもたらすことでしょうか。

...

25兄弟たち。あなたがたが自分を知恵のある者と考えないようにするために、この奥義を知らずにいてほしくはありません。イスラエル人の一部が頑なになったのは異邦人の満ちる時が来るまでであり、

26こうして、イスラエルはみな救われるのです。「救い出す者がシオンから現れ、ヤコブから不敬虔を除き去る。

27これこそ、彼らと結ぶわたしの契約、すなわち、わたしが彼らの罪を取り除く時である」と書いてあるとおりです。 (詩篇14:7・イザヤ59:20・エレミヤ31:33)

28 彼らは、福音に関して言えば、あなたがたのゆえに、神に敵対している者ですが、選びに関して言えば、父祖たちのゆえに、神に愛されている者です。

29 神の賜物と召命は、取り消されることがないからです。

イスラエルに関して... (英) **Concerning Israel...** (独) *In Bezug auf Israel...*

1. **ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較**

Comparing Dispensational Theology and Covenant Theology
Vergleich von Dispensationalismus und Bundestheologie

2. **聖書の預言**

Prophecies of the Bible
Prophetien der Bibel

3. **アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え**

Accusations and Attacks by the Arabic Countries and the Whole World
Verurteilungen und Angriffe von den arabischen Staaten und der ganzen Welt

4. **神の教会として、とるべき態度**

The Attitude we should take as the Church of God
Die Einstellung, die wir als Gemeinde Gottes haben sollten

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

	ディス 神学	契約 神学
共通点	①敬意をもって、聖書のみ言葉の最終的権威 を認める	

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

	ディス 神学	契約 神学
共通点	①敬意をもって、聖書の み言葉の最終的権威 を認める	
	②聖書が教える 救済史 を認める	

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

	ディス 神学	契約 神学
共通点	①敬意をもって、聖書の み言葉の最終的権威 を認める	
	②聖書が教える 救済史 を認める	
	<p>救済史は、...</p> <ul style="list-style-type: none">• 罪に墮落した全人類のために約束され、揭示された救いが実現するまでの歴史的流れです。	

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

	ディス 神学	契約 神学
共通点	①敬意をもって、聖書の み言葉の最終的権威 を認める	
	②聖書が教える 救済史 を認める	
	③聖書が教える 複数の契約 を認める	

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

	ディス 神学	契約 神学
共通点	①敬意をもって、聖書のみ言葉の最終的権威 を認める	
	②聖書が教える 救済史 を認める	
	③聖書が教える 複数の契約 を認める	
異なる点	① 字義通りの解釈 を強調する。	①比喩的解釈は多い。基準はない。
	②	②
	③	③
	④	④

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

	ディス 神学	契約 神学
共通点	①敬意をもって、聖書のみ言葉の最終的権威 を認める	
	②聖書が教える 救済史 を認める	
	③聖書が教える 複数の契約 を認める	
異なる点	①字義通りの解釈 を強調する。	①比喩的解釈は多い。基準はない。
	②救済史は 7(8)の時期・時代 がある。	②救済史は 2(3)の時代・契約 がある。
	③	③
	④	④

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学	契約 神学
② 救済史の 7(8)の時期・時代	救済史の 2(3)の時代・契約
1 無垢の時代 (天地創造から人の園追放まで)創世記1-3	
2 良心の時代 (罪の登場から大洪水まで)創世記3:7-8:19	
3 人間による統治の時代 (大洪水からバビロンの党まで)	
4 約束の時代 (アブラハムの召しから出エジプトまで)	
5 律法の時代 (モーセの立法の受容からペンテコステまで)	
6 恵みの時代 (キリストの十字架と復活から現在まで)	
7 御国の時代・千年王国 (キリストの再臨から、地上での御国)	
(8)新天新地 (裁きのみ座の後...)	

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学	契約 神学
② 救済史の 7(8)の時期・時代	救済史の2(3)の契約の時代・契約
1 無垢の時代 (天地創造から人の園追放まで)創世記1-3	① 贖いの契約 (父なる神と御子なる神との間)
2 良心の時代 (罪の登場から大洪水まで)創世記3:7-8:19	②(①)行いの契約 (神とアダムの間)
3 人間による統治の時代 (大洪水からバビロンの党まで)	
4 約束の時代 (アブラハムの召しから出エジプトまで)	③(②)恵みの契約 (神と罪人との間)
5 律法の時代 (モーセの立法の受容からペンテコステまで)	
6 恵みの時代 (キリストの十字架と復活から現在まで)	
7 御国の時代・千年王国の時代 (キリストの再臨から)	
(8)新天新地 (裁きのみ座の後...)	

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

	ディス 神学	契約 神学
共通点	①敬意をもって、聖書のみ言葉の最終的権威 を認める ②聖書が教える 救済史 を認める ③聖書が教える 複数の契約 を認める	
異なる点	①字義通りの解釈 を強調する。 ②救済史は 7(8)の時期・時代 がある。 ③教会 と イスラエルを明確に区別する。 ④	①比喩的解釈は多い。基準はない。 ②救済史は 2(3)の時代 がある。 ③イスラエルは神の教会の一部分に過ぎない。 ④



イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として
異なる点...

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として

➤ **a)聖書的契約** の理解 は異なる。

エデン契約：条件付き (善悪の知識の木の実は禁止)

アダム契約：無条件 (創世記3:15 メシア予言)

ノア契約：無条件 (創世記8:22「この地が続く限り..」)

アブラハム契約：無条件(約束:「国・民・医大な名・祝福」)

モーセ契約：条件付き (律法を守れば、生きる)

土地契約：無条件 (申命記29:1－30:10)

ダビデ契約：無条件 (メシヤはダビデの子孫の約束)

新しい契約：新生の約束に基づく実現。
(エレミヤ31:33、神の律法は心に書かれる)

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学	契約 神学
③ 教会とイスラエルを区別する	イスラエルは教会の一部である
その結果として	
➤ a)聖書的契約 の理解 は異なる。	
エデン契約：条件付き (善悪の知識の木の実は禁止)	
アダム契約：無条件 (創世記3:15 メシア予言)	アダム契約： 行いの契約
ノア契約： 無条件 (創世記8:22「この地が続く限り..」)	ノア契約： 恵みの契約の一部
アブラハム契約：無条件(約束:「国・民・医大な名・祝福」)	アブラハム契約： 恵みの契約の一部
モーセ契約：条件付き (律法を守れば、生きる)	モーセ契約： 恵みの契約の一部
土地契約： 無条件 (申命記29:1-30:10)	
ダビデ契約：無条件 (メシヤはダビデの子孫の約束)	ダビデ契約： 恵みの契約の一部
新しい契約：新生の約束に基づく実現。 (エレミヤ31:33、神の律法は心に書かれる)	新しい契約： 恵みの契約の実現

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として

➤ **b)律法** の理解 は異なる。

律法の要求は、キリストの死とともに終わった。信仰者はキリストの内住によって、「キリストの律法」を持つ。

マタイ 5:17-20

エペソ 2:15・ローマ 10:4

ガラテヤ 3:23-29(特に24)

律法の一部は、イスラエルが呪われ、散らばされたことによって終わり、しかし道徳的部分は今でも有効である。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として

➤ **c)イスラエル** の理解 は異なる。(従って、**教会** の理解も...)

- 「イスラエル」は限定的に、アブラハムの肉体的子孫(イサク系)を意味する。1000年王国の終わりまでに、肉体的子孫のイスラエルは残る、約束された役割を果たす。

- アブラハムの子孫の肉体的イスラエルは、キリストをメシヤとして認めずに拒んだ以来、その霊的役割は取り除かれ、教会に移った。(置換神学)

•

•

•

•

•

•

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として

➤ **c)イスラエル** の理解 は異なる。(従って、**教会** の理解も...)

- 「イスラエル」は限定的に、アブラハムの肉体的子孫(イサク系)を意味する。1000年王国の終わりまでに、肉体的子孫のイスラエルは残る、約束された役割を果たす。
- 「神の教会」は、旧約聖書にまだ隠されている。だから新約聖書では、教会を「億義」と言う。
-
-

- アブラハムの子孫の肉体的イスラエルは、キリストをメシヤとして認めずに拒んだ以来、その霊的役割は取り除かれ、教会に移った。(置換神学)
- 「神の教会」は旧約時代から徐々に発展する。(アブラハムも、イスラエルの信者も、神の教会に属する。)
-
-

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として

➤ **c)イスラエル** の理解 は異なる。(従って、**教会** の理解も...)

- 「イスラエル」は限定的に、アブラハムの肉体的子孫(イサク系)を意味する。1000年王国の終わりまでに、肉体的子孫のイスラエルは残る、約束された役割を果たす。
- 「神の教会」は、旧約聖書にまだ隠されている。だから新約聖書では、教会を「億義」と言う。
- 「神の民」は2種類がある。それは、イスラエルと教会である。新約時代以来、神の民の両方は平行に存在する。

- アブラハムの子孫の肉体的イスラエルは、キリストをメシヤとして認めずに拒んだ以来、その霊的役割は取り除かれ、教会に移った。(置換神学)
- 「神の教会」は旧約時代から徐々に発展する。(アブラハムも、イスラエルの信者も、神の教会に属する。)
- 「神の民」は最初から一つしかなかった。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として

➤ **c)イスラエル** の理解 は異なる。(従って、**教会** の理解も...)

- 「イスラエル」は限定的に、アブラハムの肉体的子孫(イサク系)を意味する。1000年王国の終わりまでに、肉体的子孫のイスラエルは残る、約束された役割を果たす。
- 「神の教会」は、旧約聖書にまだ隠されている。だから新約聖書では、教会を「億義」と言う。
- 「神の民」は2種類がある。それは、イスラエルと教会である。新約時代以来、神の民の両方は平行に存在する。
- イスラエルは神の民として、将来は大切な役割がある。

- アブラハムの子孫の肉体的イスラエルは、キリストをメシヤとして認めずに拒んだ以来、その霊的役割は取り除かれ、教会に移った。(置換神学)
- 「神の教会」は旧約時代から徐々に発展する。(アブラハムも、イスラエルの信者も、神の教会に属する。)
- 「神の民」は最初から一つしかなかった。
- イスラエルは、将来の役割はない。(置換神学)

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として

➤ **d)終末** の理解 は異なる。

- イスラエルは、終わりの時代に国として回復し、元々の約束の土地に帰ってくる。(国家的回復)

- イスラエルの今日の国家は、将来的、霊的、救済史的意味はない！

-
-
-

-
-
-

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として

➤ **d)終末** の理解 は異なる。

- イスラエルは、終わりの時代に国として回復し、元々の約束の土地に帰ってくる。
(国家的回復)

- イスラエルは、教会の携拳の後、大患難の時期に入る。

-

-

- イスラエルの今日の国家は、将来的、靈的、救済史の意味はない！

- 携拳は結局、再臨と同じ出来事、特別な意味がない。

-

-

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として

➤ **d)終末** の理解 は異なる。

- イスラエルは、終わりの時代に国として回復し、元々の約束の土地に帰ってくる。
(国家的回復)
- イスラエルは、教会の携挙の後、大患難の時期に入る。

• 大患難と言う最後の時代の7年間は、ダニエル書の第70目の年周である。

•

- イスラエルの今日の国家は、将来的、靈的、救済史の意味はない！
- 携挙は結局、再臨と同じ出来事、特別な意味がない。

• この世の歴史的流れは、福音はますます発展し、全人類はだんだんとクリスチャンになる。第70目の年周は、すでに1世紀の時に終わった。

•

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

- イスラエルは、終わりの時代に国として回復し、元々の約束の土地に帰ってくる。
(国家的回復)
- イスラエルは、教会の携挙の後、大患難の時期に入る。
- 大患難と言う最後の時代の七年間は、ダニエル書の第70目の年周である。
- 主の再臨の時、イスラエルの残された者の全員は、イエス・キリストをメシヤとして知る。
(霊的回復)

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として

➤ d)終末 の理解 は異なる。

- イスラエルの国家は、将来的、霊的、救済史の意味はない！
- 携挙は結局、再臨と同じ出来事、特別な意味がない。
- この世の歴史的流れは、福音はますます発展し、全人類はだんだんとクリスチャンになる。第70目の年周は、すでに1世紀の時に終わった。
- 肉体的ユダヤ人の多くも、救われる、クリスチャンになる。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として

➤ d)終末 の理解 は異なる。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">イスラエルは、終わりの時代に国として回復し、元々の約束の土地に帰ってくる。
(国家的回復)イスラエルは、教会の携挙の後、大患難の時期に入る。大患難と言う最後の時代の七年間は、ダニエル書の第70目の年周である。主の再臨の時、イスラエルの残された者の全員は、イエス・キリストをメシヤとして認識する。
(霊的回復)イスラエルは、1000年王国(御国)の時に、全世界を伝道し、全世界の中心地（エルサレムは全世界の首都）となる。 | <ul style="list-style-type: none">イスラエルの国家は、将来的、霊的、救済史の意味はない！携挙は結局、再臨と同じ出来事、特別な意味がない。この世の歴史的流れは、福音はますます発展し、全人類はだんだんとクリスチャンになる。第70目の年周は、すでに1世紀の時に終わった。肉体的ユダヤ人の多くも、救われる。「1000年王国」は比喩的表現、現在の教会の時代を意味とする。 |
|---|---|

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

ディス 神学

③ 教会とイスラエルを区別する

- イスラエルは、終わりの時代に国として回復し、元々の約束の土地に帰ってくる。
(国家的回復)
- イスラエルは、教会の携挙の後、大患難の時期に入る。
- 大患難と言う最後の時代の七年間は、ダニエル書の第70目の年周である。
- 主の再臨の時、イスラエルの残された者の全員は、イエス・キリストをメシヤとして認識する。
(霊的回復)
- イスラエルは、1000年王国(御国)の時に、全世界を伝道し、全世界の中心地(エルサレムは全世界の首都)となる。
- 主の再臨は、1000年王国の前にある。
(Pre-Millennialism)

契約 神学

イスラエルは教会の一部である

その結果として

➤ d)終末 の理解 は異なる。

- イスラエルの国家は、将来的、霊的、救済史の意味はない！
- 携挙は結局、再臨と同じ出来事、特別な意味がない。
- この世の歴史的流れは、福音はますます発展し、全人類はだんだんとクリスチャンになる。第70目の年周は、すでに1世紀の時に終わった。
- 肉体的ユダヤ人の多くも、救われる。
- 「1000年王国」は比喩的表現、現在の教会の時代を意味とする。
- 主の再臨は、いわゆる「1000年王国」の後にある。
(Post-Millennialism / A-Millennialism)

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

	ディス 神学	契約 神学
共通点	①敬意をもって、聖書のみ言葉の最終的権威 を認める	
	②聖書が教える 救済史 を認める	
	③聖書が教える 複数の契約 を認める	
異なる点	①字義通りの解釈 を強調する。	①比喩的解釈は多い。基準はない。
	②救済史は 7(8)の時期・時代 がある。	②救済史は 2(3)の時代 がある。
	③教会 と イスラエルを明確に区別する。	③イスラエルは神の教会の一部分に過ぎない。
	④聖書が書かれた目的: 神の栄光。	④聖書が書かれた目的: 人の救い。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場：アブラハムへの約束（アブラハム契約）

創世記12:1-3

主はアブラムに言われた。

「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。

そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。

わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場：アブラハムへの約束（アブラハム契約）

創世記15:5

そして主は、アブラハムを外に連れ出して言われた。

「さあ、天を見上げなさい。星を数えられるなら数えなさい。」

さらに言われた。「あなたの子孫は、このようになる。」

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場：モーセ・イスラエルへの約束 (モーセ契約)

出エジプト 19:5-6

今、もしあなたがたが確かにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはあらゆる民族の中にあって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。

あなたがたは、わたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。これが、イスラエルの子らにあなたが語るべきことばである。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場：イスラエルと異邦人を区別する！



エレミヤ 31:7

まことに、主はこう言われる。

「ヤコブのために喜び歌え。

国々のかしらに向かって叫べ。告げ知らせよ、賛美して言え。

『主よ、あなたの民を救ってください。イスラエルの残りの者を。』

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場：モーセ・イスラエルへの約束 (モーセ契約)

申命記 6:4 (シェマー・イスラエル...！)

聞け、イスラエルよ。
主は私たちの神。
主は唯一である。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場：モーセ・イスラエルへの約束 (モーセ契約)

申命記 7:6-8

あなたは、あなたの神、主の聖なる民である。あなたの神、主は地の面のあらゆる民の中からあなたを選んで、ご自分の宝の民とされた。

主があなたがたを慕い、あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの民よりも数が多かったからではない。事実あなたがたは、あらゆる民のうちで最も数が少なかった。

しかし、主があなた方を愛されたから、またあなたがたの父祖たちに誓った誓いを守られたからです。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場：イスラエルと異邦人を区別する！



ゼカリヤ2:8 （ドイツ語聖書は12節）

万軍の主がこう言われた。
「あなたがたに触れる者は、
わたしの瞳に触れる者。」

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
 - イスラエルの選びと特別立場
 - イスラエルの不従順に対する警告と預言

レビ記 26:44

それにもかかわらず、彼らとその敵の国にいるとき、わたしは彼らを退(しりぞ)けず、彼らを嫌(きら)って絶(た)ち滅ぼさず、彼らとのわたしの契約を破ることとはない。わたしが彼らの神、主だからである。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場
- イスラエルの不従順に対する警告と預言

エレミヤ 31:10 & 35-36

10 諸国の民よ、主のことばを聞け。遠くの島々に告げ知らせよ。

「イスラエルを散らした方がこれを集め、牧者が群れを飼うように、これを守られる」と。...

35 主はこう言われる。太陽を与えて昼間の光とし、月と星を定めて夜の光とし、海をかき立てて波を騒がせる方、その名が万軍の主である方が。

36 「もしも、これらの掟(おきて)がわたしの前から去ることがあるなら——主のことば——イスラエルの子孫は絶えて、わたしの前にいつまでも一つの民であることはできない。」

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場
- イスラエルの不従順に対する警告と預言

エレミヤ 46:28

わたしのしもべヤコブよ、恐れるな。——主のことば—— わたしが、あなたとともにいるからだ。わたしは、あなたを追いやった先のすべての国々を滅ぼし尽くす。

しかし、あなたを滅ぼし尽くすことはない。ただし、さばきによってあなたを懲(こ)らしめる。決してあなたを罰(ばっ)せずにおくことはない。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
 - イスラエルの選びと特別立場
 - イスラエルの不従順に対する警告と預言

ローマ 11:29

神の賜物と召命は、取り消されることがないのです。

(文脈は明確に、イスラエルについてのことです！)

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場
- イスラエルの不従順に対する警告と預言
- イスラエルの回復の預言

エゼキエル 36:8-11

だが、おまえたち、イスラエルの山々よ。おまえたちは枝を出し、わたしの民イスラエルのために実を結ぶ。彼らが帰って来るのが近いからだ。 というのは、わたしがおまえたちのところに行き、おまえたちのところに向かうからだ。おまえたちは耕(たがや)され、種を蒔かれる。わたしはおまえたちの上、イスラエルの全家に人を増やす。町々は住む所となり、廃墟は建て直される。

わたしはおまえたちの上にと人と家畜を増やす。彼らは増えて、多くの子を生む。わたしはおまえたちを、昔のように人の住む所とし、以前よりも栄えさせる。そのときおまえたちは、わたしが主であることを知る。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場
- イスラエルの不従順に対する警告と預言
- イスラエルの回復の預言

エゼキエル 36:37-38

神である主はこう言われる。「わたしはイスラエルの家の求めに応じ、このことを彼らのためにする。わたしは人を羊の群れのように増やす。ちょうど、聖なるものとして献げられる羊の群れのように、例祭のときのエルサレムの羊の群れのように、廃墟であった町々を人の群れで満たす。そのとき彼らは、わたしが主であることを知る。」

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場
- イスラエルの不従順に対する警告と預言
- イスラエルの回復の預言

アモス 9:13-15

見よ、その時代が来る。——主のことば—— そのとき、耕(たがや)す者が刈る者に追いつき、ぶどうを踏む者が種蒔く者に追いつく。山々は甘いぶどう酒を滴(したた)らせ、すべての丘は溶(と)けて流れる。

わたしは、わたしの民イスラエルを回復させる。彼らは荒れた町々を建て直して住み、ぶどう畑を作って、そのぶどう酒を飲み、果樹園を作って、その実を食べる。わたしは、彼らを彼らの地に植える。彼らは、わたしが与えたその土地から、もう引き抜(ぬ)かれることはない。——あなたの神、主は言われる。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場
- イスラエルの不従順に対する警告と預言
- イスラエルの回復の預言
- イスラエルの将来（予言によって、次に起こるはずのこと）

エレミヤ 31 ・ エゼキエル 37 ・ ゼカリヤ 12 ・ マタイ 24&25 ・ 黙示録 など参照

- 国家的回復が進む。ユダヤ人は全世界への散らしから帰ってくるプロセスは続く。1882年
以来のアリヤAliyaが続く。「...多くの漁夫と狩人が遣わされる...」 エレミヤ16:14-16
- イスラエルとの「偽物の平和条約」(反キリストとの平和条約)。 ダニエル9:21-27 ・ エレミヤ8:11
-
-
-
-

イスラエルに関して...

ディスペンセーション神学と契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場
- イスラエルの不従順に対する警告と預言
- イスラエルの回復の預言
- **イスラエルの将来**（預言によって、次に起こるはずのこと）

エレミヤ 31 ・ エゼキエル 37 ・ ゼカリヤ 12 ・ マタイ 24&25 ・ 黙示録 など参照

- 国家的回復が進む。ユダヤ人は全世界への散らしから帰ってくるプロセスは続く。1882年
以来のアリヤAliyaが続く。「...多くの漁夫と狩人が遣わされる...」 エレミヤ16:14-16
- イスラエルとの「偽物の平和条約」(反キリストとの平和条約)。 ダニエル9:21-27 ・ エレミヤ8:11
- ヤコブの艱難時代。最後の年周、特に7年間の後半！ ダニエル12:1 ・ エレミヤ30:4-8 ・ マタイ24:21
- 霊的回復(将来):メシアを知る。「...自分たちが突き刺したもの、私を仰ぎ見る...」 ゼカリヤ12:10
-
-

イスラエルに関して...

ディスペンセーション神学と契約神学の比較

2. 聖書の預言

- イスラエルの選びと特別立場
- イスラエルの不従順に対する警告と預言
- イスラエルの回復の預言
- **イスラエルの将来**（予言によって、次に起こるはずのこと）

エレミヤ 31 ・ エゼキエル 37 ・ ゼカリヤ 12 ・ マタイ 24&25 ・ 黙示録 など参照

- 国家的回復が進む。ユダヤ人は全世界への散らしから帰ってくるプロセスは続く。1882年
以来のアリヤAliyaが続く。「...多くの漁夫と狩人が遣わされる...」 エレミヤ16:14-16
- イスラエルとの「偽物の平和条約」(反キリストとの平和条約)。 ダニエル9:21-27 ・ エレミヤ8:11
- ヤコブの艱難時代。最後の年周、特に7年間の後半！ ダニエル12:1 ・ エレミヤ30:4-8 ・ マタイ24:21
- 霊的回復(将来):メシアを知る。「...自分たちが突き刺したもの、私を仰ぎ見る...」 ゼカリヤ12:10
- 新しい契約: 「...神の律法は心に書かれる...」 エレミヤ31:33
- 1000年王国(地上での御国、メシヤの王国): イスラエルは本来の役割を果たす。黙示録20:1-6

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

創世記16:8-12

「サライの女奴隷ハガル。あなたはどこから来て、どこへ行くのか。」すると彼女は言った。「私の女主人サライのもとから逃げているのです。」 主の使いは彼女に言った。

「あなたの女主人のもとに帰りなさい。そして、彼女のもとで身を低くしなさい。」
また、主の使いは彼女に言った。「わたしはあなたの子孫を増し加える。それは、数えきれないほど多くなる。」

さらに、主の使いは彼女に言った。「見よ。あなたは身ごもって男の子を産もうとしている。その子をイシュマエルと名づけなさい。主が、あなたの苦しみを聞き入れられたから。彼は、野生のろばのような人となり、その手は、すべての人に逆らい、すべての人の手も、彼に逆らう。彼は、すべての兄弟に敵対して住む。」

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

創世記 17:20

主はアブラハムに言われた。

イシュマエルについては、あなたの言うことを聞き入れた。

必ず、わたしは彼を祝福し、子孫に富ませ、大いに増やす。彼は十二人の族長たちを生む。わたしは彼を大いなる国民とする。



アラブ連盟 22か国

共通の3点：

- アラブ語
- イスラム教徒
- イスラエルの存在権を認めない


LAS
 League of Arab States
 Liga arabischer Staaten
 (Arabische Liga)

22 Mitglieder
 (12 vorderasiatische und 10 afrikanische Mitglieder)
 VAE = Vereinigte Arabische Emirate

CRIP-Infotec

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

2023年10月7日



イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え



イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

2023年10月7日



イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え



イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え



イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

イスラエルの領土は誰の所有物なのか？

レビ記25:23

土地は、買い戻しの権利を放棄して売ってはならない。

土地はわたしのものである。

あなたがたは、わたしのもとに在住している寄留者だからである。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

イスラエルの領土は誰の所有物なのか？

ヨエル3:2 (ドイツ語聖書4:2)

わたしはすべての国々を集め、彼らをヨシャファテの谷に連れ下り、わたしの民、わたしのゆずりイスラエルのために、そこで彼らをさばく。彼らはわたしの民を国々の間に散らし、わたしの地を自分たちの間で分配したのだ。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

歴史

- 1916年、オスマン帝国領の分割
- 1917年、バルフォア宣言(Balfour declaration):
「...パレスチナの土地において、ユダヤ人国家の出現を保証する...」
- 1922年7月24日—1948年5月14日：国際連盟の委任状による英国委任統治。



イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

歴史

- 1916年、オスマン帝国領の分割
- 1917年、バルフォア宣言(Balfour declaration):
「...パレスチナの土地において、ユダヤ人国家の出現を保証する...」
- 1922年7月24日—1948年5月14日：英国委任統治

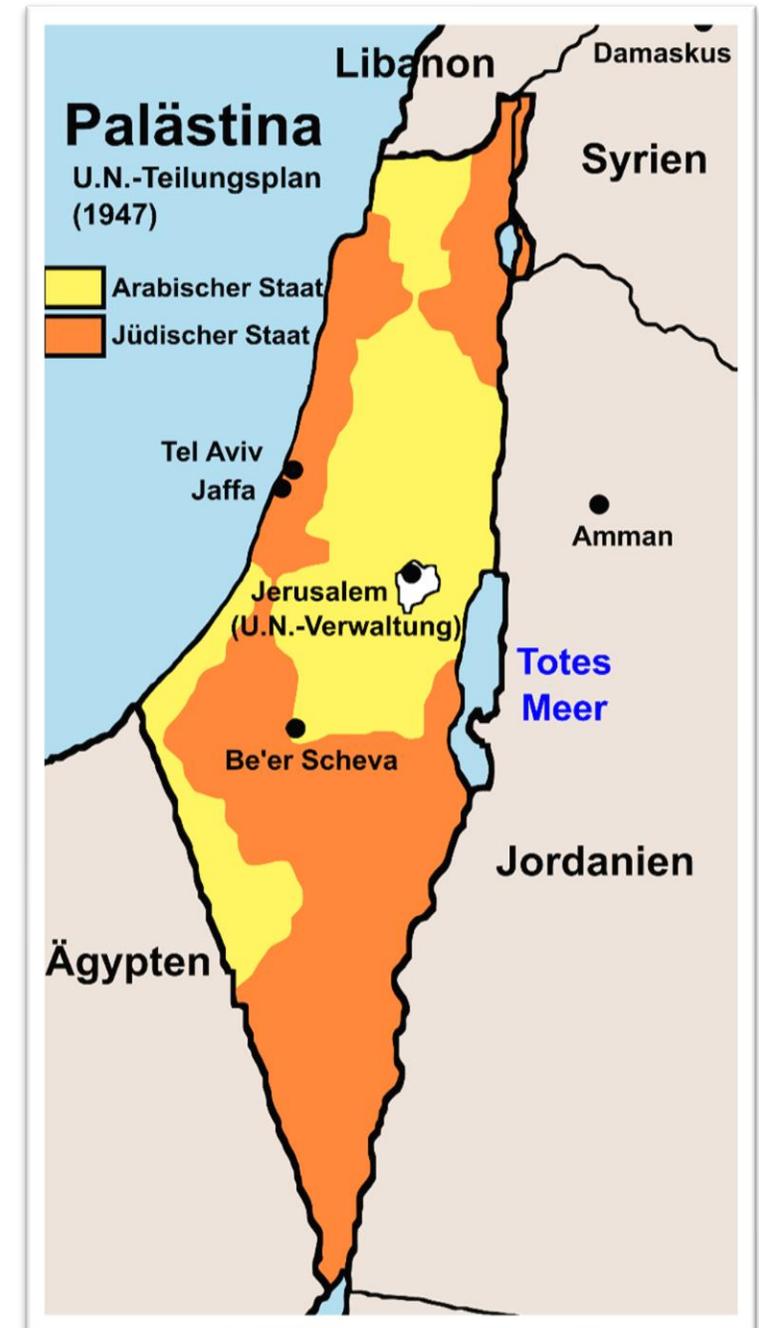


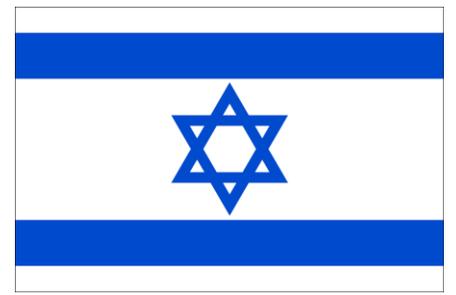
イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

歴史

- 1916年、オスマン帝国領の分割
- 1917年、バルフォア宣言(Balfour declaration):
「...パレスチナの土地において、ユダヤ人国家の出現を保証する...」
- 1922年7月24日—1948年5月14日：英国委任統治
- 1947年11月29日、国連総会の決議181によって、
「パレスチナ」は、さらに分割される





イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

歴史

- 1916年、オスマン帝国領の分割
- 1917年、バルフォア宣言(Balfour declaration):
「...パレスチナの土地において、ユダヤ人国家の出現を保証する...」
- 1922年7月24日—1948年5月14日：英国委任統治
- 1947年11月29日、国連総会の決議181によって、
「パレスチナ」はさらに分配される
- 1948年5月15日、ベン・グリオン首相によって、イスラエル建国宣言と成立



イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

歴史

- 1916年、オスマン帝国領の分割
- 1917年、バルフォア宣言(Balfour declaration):
「...パレスチナの土地において、ユダヤ人国家の出現を保証する...」
- 1922年7月24日—1948年5月14日：英国委任統治
- 1947年11月29日、国連総会の決議181によって、
「パレスチナ」はさらに分配される
- 1948年5月15日、ベン・グリオン首相によって、イスラエル建国宣言・成立
- その翌日:独立戦争。1967年:6日戦争。1973年:ヨム・キプール戦争



イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

詩篇2:1-2

なぜ、国々は騒ぎたち、もろもろの国民はむなしいことをたくらむのか。

なぜ、地の王たちは立ちかまえ、君主たちは相ともに集まるのか。

主と、主の油注がれた者に対して。



聖書の区別：
イスラエル国
と
異邦人の諸国



イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

ゼカリヤ2:8

万軍の主がこう言われた。
「あなたがたに触れる者
は、わたしの瞳に触れる
者。」



聖書の区別：

イスラエル国
と
異邦人の諸国



イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え



国連 UNO
加盟国193か国

1942年の創立以来、
国連の決議の90%以上は、
イスラエルに対しての決議
である!!



聖書の区別：
イスラエル国
と
異邦人の諸国



イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え
4. 神の教会として、とるべき態度

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

4. 神の教会として、とるべき態度

- ① 感謝と謙遜の態度を現わすべき。特に「異邦人クリスチャン」として。 (ローマ 11:11参照)
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

4. 神の教会として、とるべき態度

① 感謝と謙遜の態度を現わすべき。特に「異邦人クリスチャン」として。 (ローマ 11:11参照)

②

③

④

⑤

⑥

⑦

ローマ11:11

それでは尋ねますが、彼らがつまずいたのは倒れるためでしょうか。決してそんなことはありません。

かえって、彼らの背きによって、**救いが異邦人に及び、**
イスラエルにねたみを起こさせました。

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

4. 神の教会として、とるべき態度

- ① 感謝と謙遜の態度を現わすべき。特に「異邦人クリスチャン」として。(ローマ 11:11参照)
- ② イスラエルとユダヤ人を愛すべき。彼らに良くしてあげるべき。(イザヤ 40:1・ローマ 15:27)
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

4. 神の教会として、とるべき態度

- ① 感謝と謙遜の態度を現わすべき。特に「異邦人クリスチャン」として。 (ローマ 11:11参照)
- ② イスラエルとユダヤ人を愛すべき。彼らに良くしてあげるべき。(イザヤ 40:1・ローマ 15:27)
- ③ イスラエルのために祈るべき! 特に、彼らが守られ、メシヤを知るようになるために。
(ローマ 10:1参照)
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

4. 神の教会として、とるべき態度

- ① 感謝と謙遜の態度を現わすべき。特に「異邦人クリスチャン」として。 (ローマ 11:11参照)
- ② イスラエルとユダヤ人を愛すべき。彼らに良くしてあげるべき。(イザヤ 40:1・ローマ 15:27)
- ③ イスラエルのために祈るべき! 特に、彼らが守られ、メシヤを知るようになるために。
(ローマ 10:1参照)
- ④ 彼らに対して、「イスラエルの神」と呼ばれる主の忠実と約束を証しすべき。 (詩篇73:1)
- ⑤
- ⑥
- ⑦

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

4. 神の教会として、とるべき態度

- ① 感謝と謙遜の態度を現わすべき。特に「異邦人クリスチャン」として。 (ローマ 11:11参照)
- ② イスラエルとユダヤ人を愛すべき。彼らに良くしてあげるべき。(イザヤ 40:1・ローマ 15:27)
- ③ イスラエルのために祈るべき! 特に、彼らが守られ、メシヤを知るようになるために。
(ローマ 10:1参照)
- ④ 彼らに対して、「イスラエルの神」と呼ばれる主の忠実と約束を証しすべき。 (詩篇73:1)
- ⑤ 行い・行動的証しをもって(良くしてあげる。行動的な慰め。)、自分の信仰を証しし、
自分の救い主を証しすべき。説得的な証しは控えめにする。 (ローマ 10:17)
- ⑥
- ⑦

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

4. 神の教会として、とるべき態度

- ① 感謝と謙遜の態度を現わすべき。特に「異邦人クリスチャン」として。 (ローマ 11:11参照)
- ② イスラエルとユダヤ人を愛すべき。彼らに良くしてあげるべき。(イザヤ 40:1・ローマ 15:27)
- ③ イスラエルのために祈るべき! 特に、彼らが守られ、メシヤを知るようになるために。
(ローマ 10:1参照)
- ④ 彼らに対して、「イスラエルの神」と呼ばれる主の忠実と約束を証しすべき。 (詩篇73:1)
- ⑤ 行い・行動的証しをもって(良くしてあげる、行動的な慰めを与えること)、自分の信仰を証しし、自分の救い主を証しすべき。説得的な証しは控えめにする。 (ローマ 10:17)
- ⑥ 行動的証しを先に、言葉の証しを後に、彼らに「ねたみをおこさせる...」。
(ローマ 10:17-21 & ローマ 11:14)
- ⑦

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え

4. 神の教会として、とるべき態度

- ① 感謝と謙遜の態度を現わすべき。特に「異邦人クリスチャン」として。 (ローマ 11:11参照)
- ② イスラエルとユダヤ人を愛すべき。彼らに良くしてあげるべき。(イザヤ 40:1・ローマ 15:27)
- ③ イスラエルのために祈るべき! 特に、彼らが守られ、メシヤを知るようになるために。
(ローマ 10:1参照)
- ④ 彼らに対して、「イスラエルの神」と呼ばれる主の忠実と約束を証しすべき。 (詩篇73:1)
- ⑤ 行い・行動的証しをもって(良くしてあげる、行動的な慰めを与えること)、自分の信仰を証しし、自分の救い主を証しすべき。説得的な証しは控えめにする。 (ローマ 10:17)
- ⑥ 行動的証しを先に、言葉の証しを後に、彼らに「ねたみをおこさせる...」。
(ローマ 10:17-21 & ローマ 11:14)
- ⑦ イスラエルのメシアニック・ジュー (「ユダヤ人クリスチャン」)・教会との交わりを作り、その交わりを保ち、彼らを支えるべき。
(エペソ 2:14-18・ローマ 15:27)

イスラエルに関して...

1. ディスペンセーション神学 と 契約神学の比較
2. 聖書の預言
3. アラブ諸国 と 全世界の攻撃・訴え
4. 神の教会として、とるべき態度

エペソ 2:14-21から

14 実に、キリストこそ私たちの平和です。キリストは私たち二つのものを一つにし、ご自分の肉において、隔ての壁である敵意を打ち壊し、
15 様々な規定から成る戒めの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、この二つをご自分において新しい一人の人に造り上げて平和を実現しました。